



受検本番に向けての諸注意（1月受検の生徒へ…でも全員に読んでほしい！）

- (1) 受検票や高校が配付しているプリント、HPをよく見て、集合時間や試験会場、持ち物などを確認してください。特に私立高校は、高校によって細部が違うので、玄関などに表示されている注意やその場の先生の話をよく聞いてください。栄町中で当たり前だったことや中学生の常識（自分の感覚）が通用しないこともあるので、「え？」と思っても素直にその場の指示に従ってください。
- (2) 服装は、本校の標準服を着用します。私立高校のみ今回の入試からスマートフォンの持参を認められるようになりましたが、「**試験会場に入る前に電源を切り、試験会場を出るまでは電源を入れない**」という約束になっています。
- (3) 髮型は普段通りで大丈夫です。気合を入れるための特別な髪型はしないこと。受検票の写真と見比べて、本人確認を念入りにするそうです。マスクをはずして顔を見せてください、と言われることもあるようです。
- (4) 前日に受験会場の下見ができる高校とできない高校があります。今週末の私立1月入試に臨む人は、特に注意が必要です。まず募集要項をよく見て、さらに「敷地内に入って玄関までは行けるが中には入れない」「HPなどに試験会場の詳しい図がある」などいろいろなパターンがありますので、各校のHPをチェックして最新情報を必ず確認してください。下見が設定されていない（できないと書いてある）高校を受ける人は、交通機関を利用して校門の近くまで行ってみることをお勧めします。友達に頼らずに自力で行けるように練習した方がよいと思います。
- (5) 当日は、公共の交通機関で入試会場に行くのが原則です。もし悪天候や事故などでバスやJRが遅延した場合、遅延証明があると個人の責任にはならず、遅くなても正規の入試を受けることができます。しかし、自家用車で行く場合は、何かトラブルがあつたら自己責任になります。最終的には、御家庭の判断をお願いします。
- (6) 持ち物には特に注意が必要です。

- ① **受検票**（受検番号は暗記する）、鉛筆（シャープペン）、消しゴム、定規（分度器付きは不可。三角定規は可。）、コンパス、交通費、眼鏡、マスク、ハンカチ、ティッシュ、**外靴袋、上靴**、昼食、水筒など、いろいろな場面を想定して、念入りに準備しましょう。
- ② 公立高校については、スマートフォンは全面的に持込禁止です。中学校でしっかり指導するように高校からお願いされています。私立高校では持参を認める方向になっていますが、公立高校は逆に厳しくなっている印象です。
- ③ 試験会場に時計がないことがありますので**腕時計**はあった方がよいですが、アラームや時報の音がならないようにならなければなりません。計算機能や辞書機能付きのものやウェアラブル端末は持ち込み禁止です。
- ④ 漢字や英単語が書いてある、ペンケースや消しゴムなどの文房具、ポケットティッシュ、その他学力検査の公正を損なう可能性のあるものは、机上には出すことができません。

(7) 行動面での注意

- ① 不正行為を疑われるような持ち物や態度（文字が書いてある小さな紙がペンケースに入っている、手のひらなどに文字が書いてある、キヨロキヨロして落ち着かない様子、等）には十分注意しましょう。
- ② ペン回しを失敗してペンが机上に落ちる音などは周囲の迷惑になります。また、試験中に時間が余ったからといって「寝る」「絵を描いて暇つぶしをする」は態度がよくないです。時間が余るのは考える時間が短いからなので、最後まで集中してよく考えましょう。いろいろな先生たちが試験中のあなたのことをじっと見ています。



- ③ 休憩時間の過ごし方や、トイレ、控え室での言動も重要です。緊張感のない人はふとしたときに思わぬ失敗をするものです。また、他校生とは関わらないようにしてください。
- (8) 試験日当日、開場時間より1時間以上も早く登校して待っている人がいるようです。また、会場周辺に送迎車両がたくさん駐停車して交通の妨げになることがあるので、注意を呼びかけていただきたい、と高校側からお願いされています。御注意ください。
- (9) 当日、もっとも大切なことは、「時間までに入試会場に入る」ことです。途中で忘れものに気づき、家に取りに帰った結果、遅刻してしまうのは大きな失敗です。忘れ物に気づいても、そのまま会場に行くべきです。過去には受検票を忘れてしまったという人がいましたが、高校の先生に忘れたことを伝えると、受検票はなくても何とかなります。また、「駅から受検生の集団の列について行ったら、別の高校に着いてしまった」という失敗例もありました。やはり前日の下見はしっかりとるべきだと思います。
- (10) 発熱や体調不良などで困ったら、できるだけ早く中学校に連絡をしてください。様々な対処の仕方がありますので、家庭、中学校、高校が相談してよい方法を考えましょう。
- (11) 受検が早く終わっても、寄り道をしないで、まっすぐ帰宅してください。中学校に遅刻して登校する必要もありません。次の日、受検レポート(別紙)を書いて、詳しく報告してください。

数日後に私立高校の推薦・単願入試を受ける人がいます。当然、本人たちには緊張感が高まっていることでしょう。一方、「入試はまだ先だ」という感覚の人たちも大勢います。今日の学年末テストが終わって、少しゆっくりしたい人もいます。「いやいや、次の入試に向けて休んでいる暇はない、がんばるぞ！」という人もいるでしょう。また、皆さんの中には、もう入試を終えて合格通知をもらっている人もいます。入学手続きを終えた人もいます。このように、入試は人それぞれ、タイミングが違います。ですから、自分の入試が終わっても、全員の入試が終わるまで、入試を控えている人たちへの配慮を忘れないでほしいのです。頑張っている人が、「やりづらい」「集中できない」ということがないようにしなければなりません。入試が終わった人は、高校で学ぶ準備を始めましょう。入試のための勉強でなく、4月からの自分のための勉強(=できないことやわからないことを改善する取組)を始めましょう。

今は、お互いに励まし合って、最後にはみんなで喜び合えるように、入試という団体戦を最後までしっかり闘いましょう。